

五條市立野原中学校 「技術・家庭科」技術分野 シラバス 第2学年

【目 標】

◆「技術分野の目標」

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

【3年間の学習内容】

「技術分野」

- | | |
|--------------|----------------|
| A材料と加工に関する技術 | Bエネルギー変換に関する技術 |
| C生物育成に関する技術 | D情報に関する技術 |

【評価の観点・方法】

(1) 「生活や技術への関心・意欲・態度」 (関)

積極的に取り組む意欲や態度を重視し、工具の扱いや準備・整理・片付けなど実習の計画性や積極性に関すること、毎時間の学習の取り組み状況、作品の進捗及び提出状況、学習ノートやレポートなどで評価します。

(2) 「生活を工夫し創造する能力」 (創)

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を定期テスト、作品、レポートなどで評価します。

(3) 「生活の技能」 (技)

作品の製作や実習を通して、基本的な技術が身についたかどうか、また、その技術を生活に生かしていくことができるかを学習過程における技術の習熟度状況、完成するまでの作品や実習での実技テスト、実習レポートなどで評価します。

(4) 「生活や技術についての知識・理解」 (知)

実践的・体験的学習活動を通して、基本的な知識を身につけているか、生活との関わりを理解できているか、定期テスト、レポートなどで評価します。

技術・家庭科(技術分野) 家庭学習のてびき

学習は授業中心で十分です。授業中に集中して聴く習慣をつけましょう。テスト前には必ず教科書・ノートを持ち帰り復習してください。授業中にほとんど漏らさず習得できればテスト前はかなりゆったりと復習できるはずです。

最新の産業技術や伝統的な技術に関するニュース、また身のまわりの製品の素材や工夫されている点について関心をもって生活することで自然に身につく知識もあるはずです。

週1時間の授業ですので、1つの忘れ物で実習がかなり遅れてしまうこともあります基本的な習慣をしっかりつけましょう。

(技術分野の教科書・ノートはテスト一週間前を除き学校に置いていても結構です。)

技術分野第2学年指導・評価計画

	学習指導要領の項目	学習活動	評価項目
1 学 期	<p>B (1) エネルギー変換機器の仕組み</p> <p>(1) ア 電気エネルギーを熱, 光, 動力などに換える仕組みとともに, 電源, 負荷, 導線, スイッチ等からなる基本的な回路を扱い, 電流の流れを制御する仕組みについても知る。</p> <p>(2) イ 機器の基本的な仕組みを知り, 保守点検と事故防止ができること。</p> <p>1学期にはイのうち「機器の基本的な仕組み」のみ扱う</p> <p>C 生物育成に関する技術</p> <p>(1) 生物の育成環境と育成技術</p> <p>ア生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る</p> <p>(2) ア育成計画を立て, 栽培ができる。イ生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考える</p>	<p>栽培計画 実習</p> <p>期末考査</p>	<p>(知)</p> <p>(知)</p> <p>技 知 関 創・技 知</p>
2 学 期	<p>B (1) イ 機器の基本的な仕組みを知り, 保守点検と事故防止ができること</p> <p>(2) イ 製作品の組立て・調整や電気回路の配線・点検</p> <p>ラジオペンチ, ニッパ, ねじ回し, はんだごてなどの工具を用いて, スイッチや各機器の接点と適切な接続ができる</p> <p>(1) ア エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る</p> <p>動力伝達の機構としては, ベルトとプーリなどの摩擦を利用して動力を伝える機構や, 歯車などのかみ合いを利用して動力を伝える機構, カム機構などの目的とする動きに変換して動力を伝える機構について知る</p>	<p>ダイナモラジオ製作実習 ノート はんだ付け実技 製作品</p> <p>部品や整流回路の役割・特徴・名称</p> <p>期末考査</p>	<p>関</p> <p>関 技 (知)</p> <p>知 (知)</p>
3 学 期	<p>D 情報に関する技術 (2) デジタル作品の設計・制作</p> <p>ア, メディアの特徴と利用方法を知り, 製作品の設計ができる</p> <p>イ 多様なメディアを複合し, 表現や発信ができる</p> <p>B (1) ア エネルギーの変換方法や力の伝達の仕組みを知る</p> <p>石油などの化石燃料, 原子力, 水力, 風力, 太陽光など, 自然界のエネルギー資源を利用している発電システムや, エネルギー変換技術を利用した電気機器, 自転車などの身近な機械の調査, 観察, 操作を通して, それぞれの特徴を知る</p> <p>B (2) ア製作品に必要な機能と構造を選択し, 設計ができる</p> <p>(1) ウ エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用</p>	<p>プレゼン製作実習</p> <p>ノート</p> <p>簡単なLED回路の設計実習 製作実習と授業レポート</p> <p>期末考査</p>	<p>技 (知)</p> <p>関</p> <p>創・技 創 知</p>

